

涼を求めて！ 大山ケーブルカー夜間運転

2020.8.13

記録的な長雨が続いた梅雨がやっと明けたと思ったら、今度は日夜連日殺人的な酷暑が襲来し、コロナ予防のマスクが追い打ちをかけて来る『いつもと違う夏』にうんざりする毎日です。

読者の皆様には改めて暑中お見舞い申し上げます。

こんな中ですが、徐々に日常生活を取り戻す動きも始まり、地元の良さを見直し近場で楽しむ「マイクロツーリズム」が提唱されています。

そこで、毎年恒例となった「光の競演、絵灯ろうまつり」は中止となりましたが、身近な大山でミッシェラン 2 つ星の夜景を楽しむケーブルカーの夜間運転が行われており、昨晚夕涼みを兼ねて出かけて参りました。

連続する熱帯夜の中、一服の涼を求める大勢の人たちで賑わっていました。



17 時過ぎに猛烈な夕立に見舞われましたが、大山に到着した頃には雨も上がり、きれいな虹も出現しました。

しかし、基準雨量を超えたためにケーブルカーは一時ストップ。ようやく 18 時過ぎに運転を再開し、涼しい下社を目指します。



この日の日没は 18 時半過ぎで、夕立に洗われた湘南の夜景が輝きだすまで、しばし「茶寮石尊」で地ビールを楽しみながら、その時を待ちます。

店内には多くのお客様がお見えになり、静かに暮れなずむ風景を楽しんでいらっしゃいました。



日が落ちて暗闇に包まれると、いよいよミシュラン 2 つ星の夜景ショーが開幕しました。

石尊のテラス席は夜景観賞の特等席で、カップルが江の島の灯台の光をなぞっていました。

ちょっとピンボケで申し訳ありませんが、夜景観賞の雰囲気をお楽しみください。



阿夫利神社下社境内には「絵灯ろうまつり」で飾るはずだった新作の灯ろうが飾られて、優雅な情景を浮かび上がらせています。

画面からは分かりませんが世相を反映して疫病退散を祈願して『妖怪アマビエ』が描かれております。



拝殿の前には毎年恒例の番傘のオブジェがライトアップされて、良い雰囲気を出しています。

しかし今年はコロナ禍の中での人類共通の願い「疫病退散」の幟が静かに翻っています。



これもピンボケで夜景観賞の雰囲気だけ。

ケーブルカー沿線には木々を照らす投光器が置かれて、次々と色が変わり何とも幻想的な風景が広がります。